

だい きさいわいくくみんかいぎ (だい かい)
第5期幸区区民会議 (第4回)

にち じ へいせい ねん がつ にち げつ
日 時 平成27年8月31日 (月) 18:30~19:50

ば しょ さいわいしゅみんかん かいだいかいぎしつ
場 所 幸市民館1階大会議室

18:30 かい かい
開 会

1 かいかい
開 会

しかい いしわたふくくちょう
司会 (石渡副区長)

みなさま、こんばんは。ただいまからだい かい だい きさいわいくくみんかいぎ かいさい
皆様、こんばんは。ただいまから第4回の第5期幸区区民会議を開催させていただきます。

わたし さいわいくくしよふくくちょう いしわた ほんじつ かいぎ しんこう
私は、幸区役所副区長の石渡でございます。本日の会議の進行をさせていただきます。

まず、はいふしりよう かくにん
まず、配布資料の確認をさせていただきます。

しりようかくにん
《資料確認》

つぎ ほんじつ かいぎ ていそくすう ごほうこく いま いいんそうすう めい
次に、本日の会議の定足数を御報告させていただきます。ただ今、委員総数20名のうち16名の出席を得ておりますので、条例の第6条第2項の規定により、本会議はせいりつ
成立しております。

また、ほんかいぎ
また、本会議につきましては、かいぎこうかい たいしりょう
会議公開の対象となっております。

かいぎこうかい しゃしんさつえい ろくおんおよ しゅざい かくにん
《会議公開、写真撮影、録音及び取材の確認》

なほ じむきょく ぶちようきゅう いどう ごしりょうかい
なお、事務局につきまして、部長級の異動がありましたので、ここで御紹介をさせていただきます。

ぶちようきゅうしよくいんあいさつ
《部長級職員挨拶》

しかい いしわたふくくちょう
司会 (石渡副区長)

あらた かいぎ かいさい ぞん
それでは、改めて、ただいまから会議を開催したいと存じます。

はじ にしのいいんちよう かいかい あ ごあいさつ ひ つづ ぎ じ しんこう
初めに、西野委員長から開会に当たっての御挨拶と、引き続いての議事の進行についでお願いいたします。

にしのいいんちよう
西野委員長

ほんじつ だい かいめ くみんかいぎ がつ にち だい かいくみんかいぎ
本日は、第4回目の区民会議となります。3月19日の第3回区民会議から、これまでかくぶかい かい かいぎ おこ
で各部会で4回ずつ会議を行ってまいりました。それぞれ活発な御審議をいただき、ぶかい
て、部会ごとの具体的な取組の方向性も固まってきたことと思います。本日は、そう
した点を中心にお話し合いをしていただければと思います。

ほんじつ すす かつ かくせんもんぶかい ちようさしんぎ じりょうきよう
本日の進め方につきましては、各専門部会の調査審議の状況について、まず
「じてんしゃ じこぜろぶかい せつめい ぜんたい しんぎ ごいけん ごと
「自転車事故ゼロ部会」から説明をいただき、全体での審議・御意見、その後、
「ちいきりよく くらしやすいまちぶかい どうよう ごせつめい ぜんたい しんぎ
「地域力で暮らしやすいまち部会」から同様に御説明をいただき、全体での審議・
ごいけん なが すす おも
御意見をいただくという流れで進めていきたいと思ひます。

2 議題

(1) 各専門部会の調査審議状況の報告

西野委員長

まず初めに、「自転車事故ゼロ部会」を代表して、原委員から御報告をよろしくお願いたします。

原委員

それでは、「自転車事故ゼロ部会」の調査審議状況について、御報告します。

今回報告する内容は、スライドのとおり大きく分けて6点となります。

まず、前回、3月19日に開催した「第3回区民会議での調査審議内容」について、確認させていただきます。

第3回区民会議では、「現況・課題の把握」として、「自転車事故等に関するデータの収集・整理」や、「幸警察署等へのヒアリング」などを行ったことを報告しました。

また、「課題解決方法の検討」として、「区内道路の危険箇所調査」や、「体験型高齢者交通安全教室」の実施に向けた検討を行っていることを報告し、その後、部会で調査審議を行ってきました。

次に、第3回区民会議以降の「部会の開催状況」について御説明します。

4月27日に行った第6回目と、6月1日に行った第7回目の部会では、南河原地区と御幸地区のそれぞれの地区で行った、「区内道路の危険箇所調査実施結果の確認」と「体験型高齢者交通安全教室」の実施内容の検討などを行いました。

続いて、6月24日に行った第8回目の部会では、日吉地区で行った「区内道路の危険箇所調査実施結果の確認」をするとともに、7月27日に行った第9回目の部会とあわせて、「調査」の結果を踏まえた課題解決の取組などについて検討を行いました。

次に、「区内道路の危険箇所調査」の概要について御説明します。

この調査は、道路の危険箇所を把握することで、課題解決に関する検討の材料とすることを目的としたものです。4月21日に「南河原地区」、5月25日に「御幸地区」、6月18日に「日吉地区」で、「過去に自転車事故が発生した地点」等を対象に実施しました。おおむね、1地区当たり15箇所程度の現場を確認した後に、区役所に戻り、調査結果の振り返りを行いました。

こちらが調査の様子です。

当日は、道路公園センターや危機管理担当の職員にも参加していただき、必要な説明を受けながら調査を行いました。

調査を行う前は、「道路幅が狭い」といった通行環境に起因する事故が多いのではないかと感じていましたが、実際に現地を見てみると、自転車利用者がルールを

守らないことで起こったのではないかとと思われる事例が多く見られました。

また、調査後、すぐにふりかえりをする中で、委員同士活発な意見交換ができました。

そうした調査により確認できたポイントとしては、大きく分けて2つあります。

1つ目は、「自転車走行環境の改善の必要性」です。

主な内容としては、(ア)として、左下の写真にあるような、見通しの悪い交差点部分において、赤枠で示した「十字マーク」などの表示を徹底していく必要があるのではないかとことや、(イ)として、真ん中の写真にあるような、大規模な交差点において、「青い矢印」で、自転車が走行する位置を表示すること、(ウ)として、右下の写真にあるような、「一時停止表示」等を、より自立たせることで視認性を向上させるようなデザイン上の工夫をすることなどが、自転車事故を回避するには有効ではないかということが確認できました。

2つ目は、「自転車利用者の意識改善の必要性」です。

主な内容としては、(ア)として、左下の写真にあるような、道幅が比較的広く、自転車が走りやすい道路などにおける、スピードの抑制や、(イ)として、真ん中の写真にあるような、「一時停止」などの交通ルールへの順守、(ウ)として、右下の写真にあるような、自転車が車道の右側を走ることがないよう、左側走行の徹底等の必要性等について確認ができました。

次に、「体験型高齢者交通安全教室」の実施概要について御説明します。

こちらにつきましては、これまでの調査審議の中で、高齢者の交通事故要因として、「交通ルールの不徹底とともに、加齢による注意力・判断力の低下」が考えられることから、「注意力・判断力の低下を実感してもらうこと」や、「実技を伴う講習で、機敏に動けるか体感してもらうこと」が重要であると考えました。

そうしたことから、町内会や老人クラブなどの地域団体から、20人程度の比較的小人数の参加者を募り、「自転車シミュレーター」等のシミュレーション機器を活用することで、参加者一人ひとりに合わせたキメ細やかな交通安全教室を実施したいと考えました。

実施内容としては、幸警察署の方をお呼びしての「交通安全講話」、事故の悲惨さや、加害者への損害賠償事例などに関する「DVD上映」「自転車シミュレーター」「視野診断計」「運転・歩行者能力診断器」等の「シミュレーター機器体験」を考えています。

実施スケジュールとしては、まず、9月16日に、「日吉地区老人クラブ連合会」の会員の方、20名程度を対象に実施いたします。

また、10月17日の幸区民祭において、交通安全対策協議会の方々と一緒に、「自転車シミュレーター」を体験してもらうブースを出展いたします。

さらに、10月21日には、「河原町地区老人クラブ連合会」の会員の方、20名程度を対象に実施いたします。

続いて、「提言の作成に向けた取組の方向性」としましては、先ほど申し上げた、「自転車走行環境の改善」と、「自転車利用者の意識の改善」の2つ視点から検討していきたいと考えています。

「自転車走行環境の改善」については、「区内道路の危険箇所調査」を踏まえ、整備が必要と思われる箇所や整備内容等について検討を行っていきます。

「自転車利用者の意識の改善」については、まずは「体験型高齢者交通安全教室」を試行的に実施し、より効果的な実施内容を検討していきます。

また、さまざまな世代を対象とした自転車交通ルールの順守を促すための周知・啓発方法についても、併せて検討していきたいと考えています。

最後に、今後の部会活動の予定ですが、先ほど申し上げた「体験型高齢者交通安全教室」を9月から10月に実施し、11月から1月にかけて、「提言の作成に係る検討」や「区民会議フォーラム」の実施について検討をしていきたいと考えています。

2月頃に予定されている第5回幸区区民会議では、これまでの成果についてご報告できると思います。

以上で、「自転車事故ゼロ部会」の調査審議の報告を終わります。

西野委員長

ただ今、原委員より御報告いただきました内容について、多くの御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

成川委員

8月24日の企画運営会議で述べた意見が反映されていたので、よくできた報告内容になっていると思います。

伊藤委員

自転車を運転している立場からすると、被害者にも加害者にもなる可能性があると言えますが、最近、道路に青色の矢印表示を見かけることが多くなり、自転車がその部分を通るということが明確に示されることで、安全な走行につながっていくのではないかと思います。こうした表示がこれからますます増えれば、事故も減っていくのではないかと思います。

小野委員

まずは、自転車ルールを守るというのが第一かなと思います。鹿島田商店街の周辺でも、青色の矢印表示を見かけますが、妻から聞いたところによると、歩道を歩いているのに、後から走ってきた自転車利用者に「歩道の真ん中を歩いてるんじゃないよ」と悪態をつかれたと立腹していました。

せつかく、青色の矢印表示をしても、そこを通らず、歩道の歩行者に悪態をつくという状況は、ルール周知も大切だということを示しているのではないかと思いますので、周知・啓発方法についてよい提案をまとめていただきたいと思います。

神谷委員

自転車は簡単に乗れるので使う機会が多いですが、自転車ルールとなると、車道の左側を通行するとなっても、右側を走ったり、子どもを乗せている保護者がどうしても歩道を走ってしまうということもあります。また、若い人が2人乗りで走っているのも見かけます。

高齢者をメインターゲットに講習等をされるのも結構だと思いますが、そうした他の世代に対して、ルール順守についての注意喚起をしていただければ、なお良いと思います。

高橋委員

車を運転する機会が多いので、資料1の3(3)(ア)にある、「十字マーク」等があると、歩行者や自転車が出てくるのかなと予想することができ、非常に助かるなと思いました。

檜林委員

区内道路の危険箇所調査など、とてもよく調査されたなと思いました。

自転車で車道が走りにくい場合は、歩道を走ってしまうこともありますが、子どもから邪魔だと言われたことがあります。その時に、子どもから見ると、歩道を自転車が走っていると邪魔に感じるんだなと実感したので、これから益々、自転車が車道を走れる環境を整えたいと思いました。

藤井委員

自転車は、私たちの日常生活に欠かせないものだと思うので、自転車利用者の意識の改善というのはとても重要だと思います。高齢者向けの体験型交通安全教室に加えて、他の世代にも自転車ルール大切さを伝えていっていただきたいと思います。

原委員

区内道路の危険箇所調査で実際に現場を見て、「目から鱗」という感じを受けました。また、自転車が車両だという意識がまだまだ浸透していないのではないかと思います。

佐々木委員

私は、区内道路の危険箇所調査に全て参加しましたが、自転車事故をゼロにするのはとても難しく、大変なことだなと実感しました。特に強く感じたのは、自転車が軽車両であるということと、それを踏まえた利用者、歩行者の意識改革の必要性です。また、実現するのは難しい部分もあると思いますが、標識等の更新も必要だと

強く感じました。

押山委員

私は個人的には、飲酒運転とスピード違反を嚴重に取り締まることが、交通事故を減らす一番の対策だと思いますので、そちらについても、より一層力を入れていただきたいと思います。

飯島委員

区内道路の危険箇所調査を実施する中で、自転車の交差点での一時停止、左右確認などをきちんと行うだけでも、だいぶ事故が減るのではないかと感じました。こうしたことをいかにして自転車利用者に実施してもらうかが難しいところだと感じています。

近藤委員

私も全ての区内道路の危険箇所調査に参加しましたが、なぜこのような場所で事故が起こったのかと思うようなことが多かったです。それは、やはり、自転車利用者のマナーやモラル等が悪いからだなと思いました。全ての自転車利用者に、正しい乗り方を周知するのは大変だと思いますが、今後の部会でいろいろ検討をしたいと思っています。

阿部委員

自転車事故ゼロ部会に参加して非常によかったなと思うのが、自分が住んでいる地域でも、こんなところで事故が起こるんだということと、こんなところに脇道があったんだということがわかったことです。

また、最近気がついてるのが、電動自転車の普及で、これまでよりもスピードが速い自転車が増えてきたということです。

今日も、この会議に出るために自転車に乗って来ましたが、神明町で交通事故現場と思われる、お花が置いてある場所を通りました。本当に大切な命、みんな一人ひとり命を全うしていけたらいいなと感じています。1つでも事故が減るように、これからも活動していきたいと思っています。

西野委員長

各委員の皆様、貴重な御意見をありがとうございました。村田副委員長から、ひとことお願いいたします。

村田副委員長

自転車事故ゼロ部会の方々が、区内道路の危険箇所調査を3回実施されたことで、大きな収穫があったことがわかりました。

また、やはり一番大きな問題は、自転車利用者の意識改革だと感じました。まずは高齢者から、意識改革をしてもらう教室を試行実施するということで非常に有意義なものになるのではないかと考えています。人と車、自転車が共存していかなくてはい

けない社会ですから、いかに事故を減らしていくかというのが、住みよいまちづくりの1つだと思います。提言に向けて、さらに検討を重ねていただきたいと思います。お忙しい中、お疲れ様でした。

西野委員長

副委員長、ありがとうございます。

続きまして、次の審議事項ということで、「地域力で暮らしやすいまち部会」を代表して、伊藤委員から御報告をお願いしたいと思います。

伊藤委員

それでは、「地域力で暮らしやすいまち部会」の調査審議状況について御報告します。今回報告する内容は、スライドのとおり、大きく分けて5点となります。

まず、前回、3月19日に開催しました第3回区民会議の調査審議内容について確認させていただきます。第3回の区民会議では現況・課題の把握として、地域包括支援センター、町内会等へのヒアリング、幸区役所が主催した町内会・自治会活性化講座への参加など、必要な情報収集等を行ったことについて報告しました。

また、課題解決方法の検討としては、町内会・自治会の活性化につながる方策について、効果を想定した上で試行実施を検討することを検討し報告し、その後の部会で調査審議を行ってきました。

次に、第3回区民会議以降の部会の開催状況について御説明します。

4月20日に開催した第6回の部会では、障害者相談支援センター等に実施したヒアリング調査の報告と町内会・自治会で実施する取組の方向性として、町内会・自治会の過度な負担にならない取組とすること、それから、現在ある仕組みを活かした取組であることについて確認を行いました。

次に、6月9日に開催した第7回の部会では、幸区内の老人クラブ、戸手中部つくもかいで実施したヒアリング調査の報告と幸区役所で新たにスタートした「幸区ご近所支え愛モデル事業」について、幸区役所から説明を受け、情報を共有しました。それぞれの詳細は後ほど御説明します。また、町内会・自治会への加入促進につながるような取組事例を取りまとめていくことを確認しました。

次に、6月29日に開催した第8回目の部会では、横浜市保土ケ谷区・くぬぎ台団地自治会で実施したヒアリング調査の報告と今後の取組の方向性の確認を行いました。部会では、町内会・自治会を中心とした見守り活動を試行実施していく方向で調査審議を重ねてきましたが、幸区役所で行った「幸区ご近所支え愛モデル事業」が部会で試行実施しようと考えていたものと非常に内容が近いことから、部会における試行実施は行わず、この事業の事例研究を行っていくこととしました。また、若い世代の町内会・自治会への加入促進など、地域コミュニティの活性化につながるような取組について事例を取りまとめていくこととしました。

さらに、7月24日に開催した第9回目の部会では、「幸区ご近所支え愛モデル事業」の取組状況を確認するとともに、地域コミュニティの活性化につながる事例を取りまとめ、町内会・自治会に情報発信していくことを確認しました。

次に、ヒアリング調査等の実施結果について御説明します。

まず、「幸区ご近所支え愛モデル事業」の概要についてです。この事業は、住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指し、地域全体で自助・互助の醸成に取り組むことを目的とし、今年度からスタートしたものです。

実施する内容は、地域における課題の把握と整理、モデル事業の支援を必要とする対象者の把握、課題解決に向けた対応策の検討、計画に基づく支援の実施などです。

これは事業全体を図にしたものです。町内会・自治会エリアにおいて、町内会や民生委員など地域住民が主体となって、何らかの支援を必要とする人に対し、日ごろの声かけや地域の行事への誘いなどを行っていくものです。図の右下にあるとおり、南河原地区、御幸地区、日吉地区の3地区において、それぞれ柳町自治会、河原町団地13・14・15号棟自治会、東小倉町内会がモデル地区となり、町内会・自治会や民生委員、社会福祉協議会などが協力して見守り活動を実施していきます。モデル地区の1つである東小倉町内会は、成川部会長が町内会長であることなどから、幸区ご近所支え愛モデル事業の取組を共有しながら、区民の視点に立った自助、互助の意識を醸成する取組について検討していくこととしました。

次に、町内会等へのヒアリング調査について御説明します。ヒアリングでは、主に地域コミュニティの活性化につながる取組について確認しました。4月28日には幸区内の戸手中部九十九会にヒアリング調査を実施しました。こちらでは、高齢者で手助けが必要な老人クラブ会員に対し、友愛活動で実施する直接訪問の際に、月間行事予定を配付し、活動への参加を促すとともに、定期的な見守りを実施してきました。その他に、戸手小学校の生徒たちへの、ベーゴマやお手玉といった昔遊びの指導を通じて、世代を超えた交流を行っていました。地域コミュニティの活性化に向けては、こういった日ごろからの顔の見える関係を築く取組が重要であることを改めて確認しました。

次に、6月19日には横浜市保土ケ谷区にあるくぬぎ台団地自治会にヒアリング調査を実施しました。くぬぎ台団地は、昭和46年に完成した全世帯が賃貸形式の団地です。優良高齢者指定住宅にも指定されており、高齢者が夫婦で転居してくることも多いことや、近隣小学校が廃校となったばかりの状況が示すとおり、少子・高齢化が進んでいます。自治会では、エアコン清掃や網戸の交換など一括して契約することにより、自治会員が安心して比較的安価に信頼できるサービスを利用できる仕組みをつくりました。

また、災害時、近隣のスーパーや薬局から、自治会を窓口に必要な物資を優先的に

提供してもらおう防災協定の締結などに取組んでおり、高齢者世帯の多い団地ならではの住民のニーズに直結した取組を実施しています。くぬぎ台団地自治会の町内会加入率は実質約70%であり、こうした取組は町内会への加入のメリットにつながっていることがわかりました。

次に、今までのヒアリング調査などで得た町内会・自治会の取組事例を踏まえ、地域コミュニティの活性化につながる視点を整理しました。「高齢者の暮らしやすさ」「子育てのしやすさ」「地域住民の交流促進」「安全・安心を確保する」「加入のメリット」「若い世代の加入促進」など、主な取組事例から視点を整理することができました。

続いて、提言に向けた取組の方向性としては、誰もが暮らしやすいまちの実現と地域コミュニティの活性化に向けて、それぞれ検討していきたいと考えています。誰もが暮らしやすいまちの実現に向けては、地域包括ケアシステムにおける自助、互助の意識を醸成し、地域の役割や町内会・自治会を中心とした地域が取り組めることについて、「幸区ご近所支え愛モデル事業」の事例等も含め、広く区民に周知する方法の検討を行っていきます。

地域コミュニティの活性化に向けては、幸区内及び他都市の町内会・自治会の効果的な活動事例などを情報収集し、町内会・自治会が必要に応じて個々の活動に取り入れられるよう効果的な情報発信について検討を行っていきます。また、若い世代が町内会・自治会への理解を深め、加入や活動の参加を促進する取組について、さらに検討を進めていきます。

最後に、今後の部会活動の予定ですが、先ほど申し上げました誰もが暮らしやすいまちの実現と地域コミュニティの活性化に向けて、9月、10月でそれぞれ検討し、11月から1月にかけて提言等の作成や区民会議フォーラムの実施について検討をしていきたいと考えています。2月頃に予定される第5回区民会議では具体的な取組案について御報告できるとおもいます。

以上、「地域力で暮らしやすいまち部会」の調査審議報告を終わります。ありがとうございました。

西野委員長

御説明ありがとうございました。「幸区ご近所支え愛モデル事業」について、補足の説明があるようなので、成川部会長からお願いいたします。

成川委員

それでは、若干の補足をさせていただきます。

まず、「幸区ご近所支え愛モデル事業」については、「地域力で暮らしやすいまち部会」から、私の他に、村田委員、檜林委員、佐藤委員の計4人が推進会議委員として出席していますので、情報共有がかなりし易いということを申し上げておきます。

当初は、「地域力で暮らしやすいまち部会」が想定していた地域包括ケアシステムの構築の試行実施をしようという覚悟があったのですが、「幸区ご近所支え愛モデル事業」がスタートしたこともありますので、これについて、同じような試行実施はしないということを決めたのが今回の大きなポイントになります。

ただ、先ほど伊藤委員から申し上げたように、たまたまモデル地区の一つに東小倉町内会、つまり、私の町内会が選ばれて、現在取組を検討中であります。とりあえずは27名の住民の方をピックアップしまして、その方々を、私を含めた6人の町内会役員及び民生委員が見守るほかに、その他の御近所の方をお願いをする、あるいは班全体で見守り体制をつくる、そういったようなちょっと広げた形で取組を現在検討しております。その辺りの成果が、成功例、失敗例、両方あると思いますが、それらも含めて、資料に書いてあるような事例としての紹介につながればいいのではないかと思います。

以前、佐々木委員から、大規模な共同住宅の対応についても御意見がありました。これについては、今回のモデル地区の一つに河原町団地13・14・15号棟自治会が選ばれていますので、そちらが一つのひな形になるのではないかなと思っています。

西野委員長

ありがとうございました。今、成川部会長から「幸区ご近所支え愛モデル事業」の内容を掘り下げてお話しいただきましたので、それを含めて、御意見等をいただければと思います。

阿部委員

「地域力で暮らしやすいまち部会」が取り組んでいる内容は、非常に重たい課題だなと思っています。地域の中でも、年配の方が非常に困っているだろうなと思うようなときに、みんなが気やすく声をかけて助けてあげられるような、そんなまちづくりができればいいなと考えています。これを突き詰めていただくと、私の今の、もやもやしたものがなくなって、もう一度、地域活動に新たな目が向けられるかなと思い、楽しみにしています。

近藤委員

やはり地域活動の負担は結構大きいものだと思います。どの世代でも楽しく暮らしていけるようにというのは難しいことだと思いますが、次回の報告を楽しみにしています。

飯島委員

私の住んでいる、河原町団地13・14・15号棟自治会が御幸地区のモデル地区ということで選定いただきました。私は14号棟に住んでいるのですが、同じ8階でも築40年たっていますので、建ったときから住んでいる方は、高齢になっています。私

は30年前に住み始めたのですが、最近、お目にかからないなという方が増えてきました。しかし、自治会や管理組合から訃報が看板に出ないんですね。2, 30年ぐらい前には、誰々が何歳で亡くなりましたという掲示が出ていたのですが。モデル地区に指定されたことを機に、私も協力していきたいと思っています。

押山委員

最近家族葬というか、身内だけで葬儀を済ますところも多く、町内会で葬儀のお手伝いをするといったことも大分減ってきたというのが実感です。

ちなみに、この前、お祭りがありまして、その奉納金がどれぐらいかということで、前期との比較をしますと、奉納金が5%減っていました。やはり年々減っていて、そういった地域に対する関心のなさというのが徐々に広がってきているのかなというのが実感です。ですから、どのようにして地域に関心を持っていただくか、いろいろ模索しなくてはいけないという中で、1人に過度な負担がかからないように、たくさんの人に協力していただけるようなまちづくりというのがこれから大切なのではないかなと思います。

佐々木委員

報告を聞きまして、非常に興味深い活動内容であり、ぜひ実現に向けて取り組みたいと思うと同時に、実現に向けるためには解決しなければならない課題も多いなと思いました。私は、大型の集合住宅の自治会長をやっておりましたけれども、そのときの経験を振り返ると、住民組織あるいは所有者組織として、管理組合と自治会という2つの組織があるわけです。ですから、自治会だけが突っ走ってもなかなかうまくいかない、それから管理組合に委ねてもうまくいかないということで、その辺の調和というのが非常に難しいと思っています。

それからもう1つは、高齢者の集まりであるシルバークラブへの加入者がどんどん減っています。これは幾つか理由があると思いますが、最近、皆さん非常にお元気ですから、65歳以上が老人会ですよといっても、私は老人会に入るような年じゃないよと敬遠する。実際に入ってくる方は非常に高齢で、今度は受け身だけで、自分たちが主体となって何かやろうということの意識が無い方が非常に多い状況です。ですから、そうした課題をこれから解決していけば、資料に挙げられた活動が実現できるだろうと思っていますので、微力ながら尽力したいと思っています。

原委員

第4期では「見守り」に絞って検討してきたものが、今期は「地域力」というように、また一つ広がったのかなと思いますが、身近なテーマでありながら、とても難しいものだと思います。今、さまざまな生活スタイルがあって、個々の生活に立ち入れないという風潮の中で、迎え入れる、受け入れる側の地域力というのを本当に考えていかないといけないと思っています。私も町内会活動をしているので、自然

と声^{こえ}がかけられる、顔^{かお}が見える関係^{かんけい}といいながら、顔^{かお}を知らない方^{から}がとても多い^{おほ}です。だから、やっぱり声^{こえ}をかけ合^あえる、同じ^{おな}ところに住^すんでいなくても、同じ^{おな}道を歩^{ある}いていたら声^{こえ}かけができるような地域^{ちいき}が理想的^{りそうてき}だなと考^{かんが}えたりします。それが草^{くさ}の根^ねの活動^{かつどう}の、一番^{いちばん}根本^{こんぽん}の部分^{ぶぶん}かなと思^{おも}っておりますし、町内会^{ちょうないかい}が負担感^{ふたんかん}とか拘束感^{こうそくかん}を感じ^{かん}させるものであったら残念^{ざんねん}だなと思^{おも}います。町内会^{ちょうないかい}活動^{かつどう}を一生懸命^{いっしょうけんめい}やっ^やってくださ^さっている方^{かた}たちも、煩^{わづら}わしいと言^いわれるのも心外^{しんがい}だと思^{おも}いますし、とても身近^{みぢか}で奥^{おく}の深^{ふか}い問題^{もんだい}だと思^{おも}っています。

藤井委員

私^{わたし}も部会^{ぶかい}での活動^{かつどう}を通じて、いろいろなこと^{こと}で少しづつ町内会^{ちょうないかい}のお手伝^{てつだ}いをしたいなと思^{おも}ったことと、町内会^{ちょうないかい}が活発^{かつぱつ}に活動^{かつどう}できているところは、周り^{まわ}の人^{ひと}たちを引^ひっ張^ばっていくリーダ^{りーだ}ー的な方^{かた}がいるなと感^{かん}じました。ヒアリング^{ひありんぐ}をした、くぬぎ台^{くぬぎだい}団地^{だんち}などのように、そういうリーダ^{りーだ}ーがいると、何^{なに}も知らない人^{ひと}でも、お手伝^{てつだ}いすることもできるのではないかなと感^{かん}じました。

榎林委員

「地域^{ちいき}力で暮らしやすいまち部会^{ぶかい}」に入り^{はい}まして、やはり民生委員^{みんせいいいん}ですと、地域^{ちいき}の孤立^{こりつ}とか孤独死^{こどくし}といったこと^{こと}を一番^{いちばん}考^{かんが}えてしまいます。民生委員^{みんせいいいん}は町内^{ちょうない}に2、3人しかいませんから、町内^{ちょうない}を全部^{ぜんぶ}把握^{はあく}することは無理^{むり}なので、町内会^{ちょうないかい}・自治会^{じちかい}の方^{かた}と一緒に取^とり組^くんでいきたいなという気持^{きもち}ちがあります。

今年^{ことし}の夏^{なつ}に、社会福祉協議会^{しゃかいふくしきょうぎかい}の賛助会費^{さんじょかいひ}を民生委員^{みんせいいいん}が集^{あつ}めました、その機^き会^{かい}に安否確認^{あんぴかくにん}も合^あわせて行^{おこな}いました。

私^{わたし}のところも、要援護者^{ようえんごしや}の名簿^{めいぼ}がど^どんどんき^きますから、この方^{かた}たちを地図^{ちず}の上^{うへ}に落^おとして、手^てを挙^あげた人^{ひと}ですから、災害^{さいがい}が起^おきたとき^{とき}にはこの人^{ひと}たちをまず助^{たす}けなくてはと思^{おも}ったのですが、その方^{かた}々は誰^{だれ}も町内会^{ちょうないかい}に入^{はい}っていないというの^のがわかつたのです。その方^{かた}たちは町内会^{ちょうないかい}に入^{はい}っていないから助^{たす}けてもらえないのではないかとおも^{おも}って、手^てを挙^あげているんですね。反対^{はんたい}に、町内会^{ちょうないかい}に入^{はい}っている人^{ひと}は、町内会^{ちょうないかい}で何^{なん}とかしてくれ^{くれ}ると思^{おも}うから、誰^{だれ}も手^てを挙^あげていないというの^のが現実^{げんじつ}だったのです。そうしたこと^{こと}もありますので、皆^{みな}さんと一緒^{いっしょ}に「幸区^{さいわいく}ご近所^{きんじよ}支^さえ愛^{あい}モデル事業^{もでるじぎょう}」ができた^{でき}たらいいなと思^{おも}っております。

高橋委員

町内会^{ちょうないかい}は、いろいろな問題^{もんだい}も抱^{かか}えており、一概^{いちがい}にどれ^{どれ}が正解^{せいかい}というの^のもないし、不正解^{ふせいかい}もないと思^{おも}うので、このヒアリング調査^{ひありんぐくさうさ}などを通じて、少^{すこ}しでも検^{けん}討^{とう}のヒン^{ひん}トをつかみ、地域^{ちいき}の特性^{とくせい}に合^あった取組方法^{とりくみほうほう}を考^{かんが}え出^だせればと思^{おも}っています。

神谷委員

私^{わたし}が住^すんでいる町内会^{ちょうないかい}でいうと、大体^{だいたい}70代後半^{だいこうはん}から80代^{だい}の人^{ひと}が役員^{やくいん}をしていて、本来^{ほんらい}的には、我々^{われわれ}団塊^{だんかい}の世代^{せだい}、60歳^{さい}から65歳^{さい}ぐらいの人^{ひと}が入^{はい}っていくの^のが

理想だと思いますが、社会的には、その年代もまだ勤めなくてはならないという状況があります。

この部会でいろいろお話をさせていただいた中で、若い人をどうやって引きつけたらいいのかという課題が一番大きいと思い、それに注力して頑張っていきたいと思っています。

小野委員

やはり地域の支え合いや見守りがいかに難しいかというのは、検討していて本当にわかりました。今、テレビなどでも、そうした問題について放映しています。昨日も、夜9時からテレビでやっていた番組を見た方もいらっしゃると思いますが、親を介護するために家に戻ってきたら、親の生活保護がなくなり、途端に困窮してしまったということでした。また、子どもが帰ってくると、見守りの対象から外れてしまうというようなことも問題視されているようです。こうした問題についても考えていながら、地域包括ケアシステムが構築されていけば良いなと思っています。

伊藤委員

先ほど報告させていただきましたけれども、やはり「地域力で暮らしやすいまち部会」としては、これまでやってきた部分については、ある程度想定内の活動としてヒアリングを行って視点を見つけてきました。資料に出ているのは6つなのですが、ここから先、提言まで漕ぎ着けるにはちょっとハードルが高い部分がやはりあるなと思っています。これまでの御意見の中でも、どの町内会も悩み事が多いようです。ですから、どこまでの提言ができるかとなると、これからちょっと時間をかけてやっていかないとまとめ切れないかなと危惧しています。

私がこんなことを言っているのは、私も町内会の経験があり、20年前と今とやはり状況が違います。当時は、小学校、中学生のお父さん、お母さんを誘い込めば自然にやっていただけたという時代でした。その人たちが今もまだ続いているという状況です。ですから、今、非常に助かっているのは、そういう人たちの応援があるから、まだ町内会・自治会ができていうことです。私が次の代にバトンタッチしたときに、果たして若い人たちがそういうことができるかという、ほとんどが「入って何のメリットがありますか」という反応につながってしまう。

そうした状況の中で、少しでも良い提言ができればと思っています。

松井委員

部会の活動の中で、地域包括支援センター等にヒアリングをすることで関連知識が増え、大事な課題に取り組んでいるんだということを再確認いたしました。また、他の委員の方々には、知識の深さや熱意がとてもあるので、残りの時間で少しでも皆様の生活がよくなるような提言ができれば良いなと思っています。

成川委員

ほぼ言い尽くされたとは思いますが、私も日々、町会長をやって悩みが多いです。この積年の課題である町内会の活性化の決め手というのは、多分無いと思います。ただ、地道に粘り強く、あとは町内会・自治会の特性に合わせた選択ができる提案をしていきたいなと思っています。

西野委員長

貴重な御意見をたくさんありがとうございました。実を言いますと、私も町内会はまだ10年近くしかやっていませんけれども、「幸区ご近所支え愛モデル事業」に推進委員として協力しているところです。これから会議の中でいろいろ考えていきたいと思っています。

では、いろいろお話が出た中で、副委員長からひとことよろしくをお願いします。

村田副委員長

私も「地域力で暮らしやすいまち部会」に入っておりまして、また民生委員でもあるものですから、この問題は本当に難しく、向こう三軒両隣の人々がお互い声をかけ合うようなまちにならないかなということを切実に考えています。

先ほど松井委員からもありましたが、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、地域子育て支援センターといったさまざまな機関にヒアリングをしまして、いろんな問題点を聞きましたが、そうした機関が町内会・自治会といかに連携をとっていくか。そこがうまく連携がとれていくと、やはり町内会・自治会の運営も少しは楽になってくるのではないかなという気がいたします。また、地域に住んでいる人も、「この問題が出たらあそこに相談すればいいのだな」というような、本当に安心して暮らしていけるのではないかなと思っています。ただ、お互いが知り合うという、そのハードルの高さを今回は少し感じました。まだもう少し時間がありますので、良い提言が出せるように頑張りたいと思っています。

西野委員長

副委員長、ありがとうございました。

それでは次に、区民会議フォーラムの実施概要案について、事務局から説明をお願いします。

事務局（吉岡係長）

それでは、お手元の資料2をご覧ください。第5期幸区区民会議フォーラム実施概要案ということで、本日は、今後のフォーラム実施に向けての具体的な検討にあたって、これまで4期の実施状況なども踏まえ、方向性を御確認いただきたいという趣旨のものでございます。

例年、資料の「1」に記載のような目的のもと、2年に一度の頻度となりますが、フォーラムを開催いただいているところでございます。

「2」のとおり、今回の実施時期につきましては、年度末となります平成28年3月

を想定させていただいております。

「3」の会場につきましては、区役所あるいは市民館での開催を、さらに対象となる方の人数や当日の構成につきましても、前回は踏まえ、「4」「5」のような形でお示しさせていただいております。

なお、「5」の構成のところに米印で記載しておりますように、当日の全体の開催時間は、1時間半程度を想定しています。当日は専門部会ごとに活動報告をしていただくほか、御来場者の増加につながるようなアトラクションなどもあわせて開催するといった構成で毎回実施してきたところでございます。

今後につきましては、「6」に今後の進め方として記載してありますとおり、各専門部会にて実施内容の検討を具体的に進めていっていただき、さらには3月のフォーラム本番前には企画運営会議や第5回目の区民会議、すなわち、次回の全体会議の場で最終的な御確認、決定をしていただくといったスケジュールで、詳細を詰めていっていただければと考えております。

西野委員長

ありがとうございました。何か御意見がございましたら、よろしくお願いいたします。

成川委員

3月はいろいろな行事が立て込むので、できれば早目に日程を決めていただきたいと思います。

事務局（吉岡係長）

ただいまの御意見、御指摘を踏まえまして、今後、早急に具体的なスケジュール調整をさせていただければと考えておりますので、よろしくお願いします。

西野委員長

ありがとうございました。

それでは、区民会議フォーラムのスケジュール等は、今後の部会等で意見をいただきながら決めていきたいと思います。

次に、本日御参加の参与の皆さんからお話をいただければと思います。

沼沢参与

本日は大変にお疲れさまでございます。大変貴重な提言をまとめていただくということになっておりまして、大変感謝しております。

見守りに関しましては、中学1年生の殺傷事件であるとか、寝屋川市でも事件がございまして、大変に危惧しているところでございます。高齢者だけではなく、若い方、また子どもさんもやはり居場所がないということで大変悩まれているケースがございまして。このたびは高齢者を対象にということでございますが、子どもさんですとか、育児に悩まれている若いお母さん等々にもぜひとも一緒になってお声かけをして

いただくと大変^{たいへん}にありがたいと思^{おも}います。

自転車^{じてんしゃ}については、歩車分離^{ほしやぶんり}の信号^{しんごう}の推進^{すいしん}ということで取り組まれておりますが、なかなか進^{すす}んでおりません。前^{まえ}にもお話^{はな}したかと思^{おも}いますが、札幌^{さっぽろ}、松山^{まつやま}では市内^{しんない}の信号^{しんごう}が全て歩車分離^{ほしやぶんり}になっておりまして、自転車^{じてんしゃ}、歩行者^{ほこうしや}が、車^{くるま}と交錯^{こうさく}しない、こういう地域^{ちいき}が実現^{じつげん}をしております。ぜひとも実現^{じつげん}に向けて、議会^{ぎかい}としても取り組んでまいりたいと思^{おも}います。よろしく願^{ねが}いいたします。

野田^{の ださんよ}参与

今回^{こんかい}、初めて区民会議^{くみんかいぎ}に参加^{さんか}させていただきました。皆様^{みなさま}には貴重^{きちょう}なお時間^{じかん}を割^きいていただき、こうした素晴^{すば}らしい提言^{ていげん}をまとめていただいていることに、心^{こころ}から感謝^{かんしゃ}を申し上げます。

今^{いま}、自転車^{じてんしゃ}のお話^{はなし}が出^でましたが、6月1日^{がついついち}から改正道路法^{かいせいどうろほう}が施行^{しこう}されて、自転車^{じてんしゃ}が車道^{しやどう}を走^{はし}ることを徹底^{てつてい}するという面^{めん}があります。区内^{くない}も、報告^{ほうこく}にありました青^{あお}い矢印^{やじるし}表示^{ひょうじ}が引^ひかれていますが、どうしても交差点^{こうさてん}のところでもややと消^きえてしまっている現状^{げんじょう}もあるかと思^{おも}います。これを徹底^{てつてい}すればするほど、今度^{こんど}は自動車^{じどうしや}との接触^{せつしよく}事故^{じこ}も増えてくるかと思^{おも}いますので、こういう皆様^{みなさま}の市民目線^{しみんめせん}のデータ^{でーた}が非常^{ひじょう}に貴重^{きちょう}な提言^{ていげん}になるかと思^{おも}っております。当然^{とうぜん}警察^{けいさつ}も絡^{から}む話^{はなし}でありますし、私^{わたし}どももいろいろ動^{うご}ける範囲^{はんい}で頑張^{がんば}ってまいりたいと思^{おも}います。またいろいろと勉強^{べんきょう}させていただければと思^{おも}います。ありがとうございます。

山田^{やまださんよ}参与

お疲れ^{つか}さまでございました。それぞれの部会^{ぶかい}で現地^{げんち}の調査^{ちようさ}をされたということ、これは大変^{たいへん}貴重^{きちょう}ではないかと思^{おも}います。もし「自転車事故^{じてんしゃじこ}ゼロ部会^{ぶかい}」で現地^{げんち}調査^{ちようさ}をした場所^{ばしょ}が、他の情報^{じょうほう}の中^{なか}で生^いかせるような、そんなことも行政^{ぎょうせい}も含^{ふく}めて検討^{けんとう}していただければと思^{おも}いました。

また、「地域^{ちいきり}力で暮らしやすいまち部会^{ぶかい}」でも、横浜市^{よこはまし}の自治会^{じちかい}等^{とう}も現地^{げんち}調査^{ちようさ}をされているようでございますから、そういうところもいとこどりを^{さいわいく}して、幸区^{さいわいく}のまちづくりに生^いかすことも今後^{こんご}検討^{けんとう}していただければと思^{おも}います。まだ9月^{がつ}以降^ご、部会^{ぶかい}もありますし、ぜひいい形^{かたち}でフォーラム^{ふおーらむ}に向けて成果^{せいこ}があらわれるように、よろしく願^{ねが}いしたいと思^{おも}います。

西野^{にし の いんちよう}委員長

ありがとうございました。

続いて、今後のスケジュール^{すけじゅーる}等^{とう}について事務局^{じむきよく}から願^{ねが}いします。

事務局^{じむきよく}（吉岡^{よしおか}係^{かり}長^{ちよう}）

それでは、お手元^{てもと}の資料^{しりょう}3を御覧^{ごらん}ください。今後^{こんご}、9月^{がつ}の御予定^{ごよてい}についてでございます。第10回^{だいじゅう}目の部会^{ぶかい}は、「自転車事故^{じてんしゃじこ}ゼロ部会^{ぶかい}」が9月28日^{がつ}（月^{にち}）に、「地域^{ちいきり}力で暮らしやすいまち部会^{ぶかい}」が9月24日^{がつ}（木^{もく}）に、それぞれ開催^{かいさい}させていた

だく予定です。

続きまして、お手元の「かわさき改革カフェ」というチラシをご覧くださいませで
しょうか。こちらのかわさき改革カフェについてでございますが、現在、市役所にお
きまして、財政面での効率化や市民サービスの質の向上などといった観点での取組と
して、行財政改革に関する計画の策定作業を進めているところでございます。最終的
には今年度末の策定を予定しておりますが、その最終的な策定に向けまして、市民の
皆様とともに意見交換をさせていただく場といたしまして、今回、カフェ形式にて会
を開催させていただくといった趣旨のものでございます。この開催に当たりまして、
幸区区民会議の委員からも御出席をいただければと存じまして、先日、委員長、
副委員長に御相談申し上げましたところ、御内諾をいただきまして、村田副委員長
に、9月19日（土）、第1回目となりますが、そちらへの御出席をいただく予定と
なっておりますことを本日御報告申し上げる次第でございます。

西野委員長

ありがとうございます。以上をもちまして全ての議題を終了したいと思います。

また参与の皆様、ありがとうございました。

司会

委員長、ありがとうございます。本日の摘録につきましては、事務局で案を作成
いたしまして、皆様に郵送いたしますので、内容を後日御確認いただきたいと思います
と思います。

それでは最後に、閉会に当たりまして、幸区長の上野から御挨拶申し上げます。

区長

長時間にわたりまして熱心に御議論いただきありがとうございます。今日は2つの
部会の報告を伺いまして、この第5期の区民会議の委員の皆様は、今、ちょうど2
年目に入ったところですが、先ほどもお話が出ました、実態調査、現地調査、
それらは非常に議論の参考になっているんだなということを感じております。そうい
った議論を深めていくための調査審議をぜひこれからも続けていただき、来年の6月
に、提言としてまとめていただくわけですが、その間にいろいろ皆様が調査
審議したこと、そしてまた、それを区民会議の委員だけでなく、地域の皆様にお伝え
していただくことも大変重要なのではないかと考えております。私どもも提言だけで
なく、今日、こういった形で伺った御意見あるいは疑問、質問、そういったものを
自分たちで業務の中に取り入れて、皆様とともに幸区がいつまでも住みやすいと
言っていいただけるように頑張っていきたいと思っております。

本日は、どうもありがとうございました。お疲れさまでございました。

司会

それでは、これをもって第4期の第5期幸区区民会議を終了させていただきます

す。本日は、どうもありがとうございました。

19:50 閉 会